

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アブルール鶴沼 新築工事	階数	地上5F
建設地	藤沢市鶴沼橋一丁目19番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	152 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校・病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年8月27日
敷地面積	1,287 m ²	作成者	(株)グローリー
建築面積	742 m ²	確認日	2018年8月27日
延床面積	2,485 m ²	確認者	(株)グローリー



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
可能な限り緑地を記し、景観に配慮した。		
Q1 室内環境 内装材はF☆☆☆☆を使用することで配慮している。	Q2 サービス性能 壁長さ比率は、0.1以上0.3未満にて計画した。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー 屋根に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される